

## ～ 不都合な真実 ～

昨年「建具構造モデル」をご案内したところ大きな反響とともに、たくさんの方から注文をいただきました。お施主様へ具体的にわかり易く説明ができるということや、営業マン教育のために購入したいということでした。

### <建具構造モデル(3種類)>

(写真の左)建具屋の突板フラッシュ戸

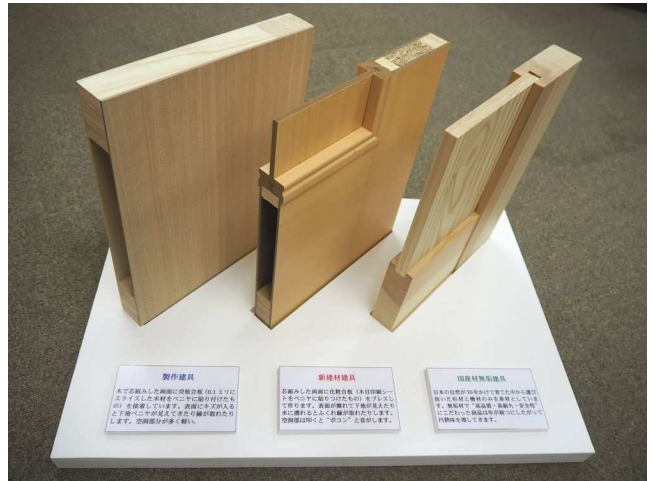
木材で芯組をして両面からシナやタモなどの薄い(0.2ミリ)単板を貼り付けた合板を接着。中は空洞で20～30年の耐久性

(写真の中央)新建材メーカーの建具

積層材で芯を組んでシート貼りしたMDF板を両面から接着。中は空洞で20～30年の耐久性

(写真の右)国産材無垢建具

素材は本物の国産材のみ。古民家に見られるよう年が経つにしたがって美しく変化する。飽きの来ない質感で百年以上の耐久性。



これを突板フラッシュ戸や新建材建具の“ネガティブキャンペーン”と捕らえられる方もおられました。そうではありません。きっかけとなったのは大阪のお施主様からのご意見でした。

多分、前の家では十分な説明を受けずに買ってしまい失敗したと感じられたのでしょうか。予算が限られていたり、デザイン面で無垢商品が使えない場合もあると思います。しかし、あとで構造が判って信頼を失うより情報を提供し納得した上で決められるほうが逆にお施主様から信頼されるのではではないでしょうか。

本物の木材を知っているからこそ言いたくない**“不都合な真実”**

大阪のお施主様よりのご意見

5 良かった点がございましたらご記入ください

当初、コストダウンのために、シナフラッシュの建具を提案されたが、前の家で、LIXILの扉に使用していた知っていたので、断固拒否。建具の扉は木材を減らしてイマガワさんのヒキにしたいが、大満足です。